

	イギリス① 	イギリス② 	アメリカ 
調査機関	英国高等教育統計機構 (HESA)	民間調査機関 (MORI) ※学生局 (OfS) の委託調査	全米教育統計センター (NCES)
調査名称	・2002～2016年: Early-DLHE/ Longitudinal-DLHE調査 ・2020年～: 'New DLHE' review (2019年 現在は移行期間)	「全国学生教育満足度調査」(NSS-National Student Survey)	「ハイスクール卒後調査 (HS&B)」、「大学卒 後調査 (B&B)」 (※卒業生調査)
調査対象等	・Early-DLHE/Longitudinal-DLHE調査: 卒 業後6か月及び卒業後3年半が経過し た学生。  ※2002年から毎年、2006年から隔年で 実施。  ・'New DLHE' review: 卒業後15か月が 経過した学生。	全英403の大学・高等教育機関及び継続教 育カレッジの最終学年の学生33万人以上 (2019年)。  ※2005年から毎年実施	連邦奨学金事業の利用資格がある全米の中 等後教育機関(学位授与機関のほとんどが 含まれる)。  ※HS&Bは1980年にハイスクールの生徒(第 10学年及び第12学年)だった者を対象に 1980年、1982年、1983年、1984年、1986年、 1992年、1993年に実施、B&Bは1993年、2000 年、2008年、2016年の卒業生を対象にそれ ぞれ3回調査を実施(2000年は1回のみ、 2016年は予定)
調査項目・ 手法	○調査項目: ・Early-DLHE/Longitudinal-DLHE調査: ①卒業後6か月及び3年半までの仕事 と学業の状況(就業しているか、就学し ているか)、②産業・職業、③年収、④ 職業選択に対する満足度、⑤専攻分野 別就職率及び失業率 等 ・'New DLHE' review: 項目は未公表(初 回調査は2018年12月に終了し、調査結 果は2020年春に公表予定)	○調査項目: ①自分のコース(専攻課程)の 教授指導、②学習の機会、③評価とフィード バック、④学習支援、⑤コースの運営、⑥学 習資源、⑦学習環境(教員や他の学習者と の関係)、⑧学習者の声、⑨学生団体の活 動、⑩総合的な満足度 ○調査手法: オンライン調査(回答は任意)	○調査項目: ・HS&B: 総合学力テスト、家庭における教育 支援、進学と奨学金、就職と賃金、労働環境 と福利厚生、対象者の社会経済的背景 等 ・B&B: 就職状況(特に教員となった者は詳細 に調査)、収入及び債務の返還、大学院への 進学・在学状況、学士課程在学時の専攻等、 対象者の社会経済的背景 等

## 各国における主な卒業生・学生調査の概要について②

	オーストラリア 	ドイツ 	フランス 	中国 
調査機関	教育科学訓練省 (DEST) 【※データベース】 (QILT-Quality Indicators of Learning and Teaching)	ドイツ高等教育学術研究センター (DZHW) ※連邦と各州が共同出資する非営利企業	職業資格調査研究センター (CEREQ) ※教育担当省及び雇用担当省が所管する国立機関	マイコス (Mycos) ※民間調査会社
調査名称	「学生実態調査」(SES) 「卒後状況調査」(GOS)	「大学修了者パネル調査」  ※連邦教育研究省が助成	「『世代』調査」	「中国大学生就職報告」  ※2009年より毎年発行
調査対象・手法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SES : 学部生及び非学位授与機関在学者の合計約30万人 (2019年)。</li> <li>・GOS : 大学及び非学位授与機関の卒業生の合計約12万人 (2018年)。</li> </ul> <p>※ SES : 学部学生対象の年次調査 (UES) の調査対象を2015年に拡大                  ※ GOS : 「卒後進路調査」(GDS) の調査対象を2016年に拡大</p>	<p>1989年から4年おきに、無作為抽出した当該年度の大学修了者の1年後、5年後、10年後を調査(直近の調査対象は2017年度修了者)。</p> <p>※2005年度修了者の調査では、1年後: 約1万2,000人(回収率24.7%)、5年後: 約6,500人(同60.5%)、10年後: 約4,300人(同66.3%)</p>	<p>3年おきに、新たに離学した世代を調査。</p> <p>※3年おきに新たに離学した世代について3、5、7年等の間隔で調査を実施</p>	<p>30の省・自治区・直轄市の、30.3万人の高等教育卒業生(本科課程卒業生: 15.2万人、専科課程卒業生: 15.1万人)(※2018年度, 卒業後半年経過した者)。</p> <p>※2006年から毎年実施</p>
調査項目	<p>○調査項目:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SES : ①学生のスキル開発、②学習の実態、③教育の質、④学生支援、⑤学習リソース</li> <li>・GOS : ①スキルの活用、②給与、③進学状況、④履修科目への満足度、⑤卒業生の給与の中央値、⑥機関別の状況</li> </ul>	<p>○調査項目:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修了1年後: 在学中の経験(留学、アルバイト等)、学修に対する評価、進路選択、就職活動、就業状況 等</li> <li>・修了5年後: 現況、就業状況、研修・生涯学習活動の状況 等</li> <li>・修了10年後: 現況、就業状況、研修等の学習活動の状況、家庭の状況 等</li> </ul>	<p>○調査項目:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学位・資格取得状況</li> <li>・雇用状況</li> </ul> <p style="text-align: center;">等</p>	<p>○調査項目:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高等教育卒業生の</li> <li>・就職率、離職率</li> <li>・フルタイム勤務者比率</li> <li>・賃金</li> <li>・起業率</li> <li>・大学院進学率</li> <li>・留学状況</li> <li>・出身校満足度</li> </ul> <p style="text-align: center;">等</p>